

開館時間 (火)～(金) ▶ 9時～17時 ■ 問い合わせ
(土)・(日) ▶ 9時～16時 多久市立図書館 ☎75-2233
休館日 月曜日、図書整理日、祝日、年末年始

「おすすめの新着本」



奇想天外なストーリーで綴る命についての4つのお話

小さな命とあつとこつち

作・楠 章子
絵・日置 由美子
(毎日新聞社)

橙花さんのお店は、不思議な古道具屋さんです。お店の名前は「ほんなら堂」。訪れた人の願いを、見たこともない品物でかなえてくれるのです。4つのお話のテーマは、命。怖そうだけどあったかい心になれるお話ばかりです。



取り壊すことになった蔵の結末は?

古どうぐ〜るぐる

作・赤城 香織
絵・はらだ ゆうこ
(西日本新聞社)

りょうたくんの家には百年以上も前から建つ蔵があるのですが、古いので壊すことになりました。蔵は、蔵の中にある古道具たちを江戸時代に連れて行きます。江戸時代の「直しの技」で生まれ変わる道具たち…。蔵はどうなるのでしょうか?



多彩な作家40人がおのれの原点を綴る
私だけのふるさと 作家たちの原風景

編・毎日新聞夕刊編集部 (岩波書店)

今を彩る作家40人が語る故郷。幼い頃の思い出や故郷に寄せる想い、自身に与えた影響などを綴った本です。佐賀県出身の北方謙三さんの故郷・唐津への想いも掲載されています。

「その他おすすめの本」

子育て支援施設 & 催しのご案内

児童館 ☎75-6621

いずれも対象は幼児から小学生までです。

◆すこやかタイム

毎週土曜日 10時30分～、13時30分～

- 8/3(土) プラバンあそび
- 8/10(土) おりがみあそび
- 8/17(土) メルヘンタイム
- 8/24(土) ブーメラン作り
- 8/31(土) 卓球で遊ぼう

◆母と子のサロン

毎週火曜日 10時～12時

内容 おしゃべり会
(第1、3、4火曜日)
ミニ講座、身体測定など
(第2火曜日)

子育て支援センター

☎75-5780 (杉の子保育園内)

◆子育てクラブ「わくわくランド」

日時 毎週木曜
(祝日休み 10時～12時)

場所 多久市児童館

◆園庭開放 (杉の子保育園内)

日時 月～土曜日 (祝日休み)
9時～14時

◆子育て相談 (電話相談可)

日時 月～土曜日 (祝日休み)
9時～17時

【8月の休館日】

5日(月)、12日(月)
19日(月)、26日(月)

【お知らせ】

「感想文課題図書が揃いました」
より多くの人に利用していただくために、貸し出しはひとり1冊1週間にします。
ご協力をお願いします。

児童向き

- ◆むしむしたんけんたい (西沢 杏子)
- ◆ゆうれい猫と魔女の呪い (廣嶋 玲子)
- ◆こわがりやのしょうぼうし (にしかわ おさむ)
- ◆わらべうたであそびましょ! (さいとう しのぶ)
- ◆いけのおと (松岡 達英)
- ◆まっちゃんのおやつ (町野 仁英)

一般向き

- ◆遠野物語 remix (京極 夏彦、柳田 泉、國男)
- ◆満つる月の如し (澤田 瞳子)
- ◆え、なんでもた? (宮藤 官九郎)
- ◆だいたい四国八十八ヶ所 (宮田 珠己)

人権教育 No. 196

ともし生

「同和問題の解決のために」

「同和問題を知らなかったら差別もないと思う」「教えるから差別意識が芽生えるのではないの?」というご意見をいただくことがあります。知らなかったら同和問題は本当になくなるのでしょうか。残念なことに差別は、私たちの暮らしの中に存在しています。関心がないか、あるいは、気づいていないだけなのです。たとえば、インターネット上の差別的な書き込み、特に電子掲示板では、同和地区の所在地を暴こうとする書き込みが後を絶ちません。また、結婚や就職など人生の節目で身元調査が行われ、出自が

問題にされることがあります。差別の芽は、日常のそこかしこにあるのです。意識していないだけで、ひよつとすると自分自身の心の中にもあるかもしれません。人種・国籍・性・生まれ・生立ち、身体的特徴・病歴などを理由に、あるいは、学歴・職種・肩書きを理由に、人を見上げたり、見下げたり、さげすんだり……。偏見や差別はないと思っていても、正しく理解をしていないと、何かの機会に心の中に潜んでいる偏見が顔を出します。同和問題の解決のためには、「正しく知る」ということ、そして私たち一人ひとりが「人権意識を高める」ことが大切です。

社会教育指導員 野中久美子